

令和2年度

学校関係者評価報告書

令和3年3月

山梨県立宝石美術専門学校

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長及び保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価等の結果に関する評価を行い、貴重なご意見やご指導をいただきました。

結果につきましては、教育の質の向上、学校運営の改善強化に反映していくとともに、今後も引き続き学校関係者評価を計画的に実施して参ります。

1 学校関係者評価委員名

百瀬 文一郎 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	副理事長	
清水 幸雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	宝石学校委員会	委員長
青柳 浩二 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	宝石学校委員会	委員
深澤 陽一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	宝石学校委員会	委員
深澤 利彦 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	宝石学校委員会	委員
長岡 良雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	宝石学校委員会	委員
内藤 恵一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合	事務局長	
越石 寛 氏	甲府商工会議所	事務局長	
小俣 宏記 氏	山梨県立甲府城西高等学校	校長	
野沢 正美智 氏	保護者（後援会会長）		
小林 徹 氏	山梨県産業労働部産業振興課	課長	

2 学校関係者評価委員会の開催

第1回 令和3年3月9日（火）

3 実施方法及び公表

学校関係者評価委員会において、内部評価委員会が実施した「自己評価」及びアンケート調査の結果と学校の取組み内容について確認していただき、ご意見御指導をいただきました。

委員には、評価項目ごとに4段階の評価をいただき平均値を評価点としました。

評価：適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1

本報告書は、学校ホームページにおいて公表し、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、本校教育水準の向上に努めて参ります。

4 学校関係評価委員の意見等

(1) 教育理念等 評価点 3.89

- ・校長が変わってから加工重視の方針に変わり、とても良い方向に向いた。
- ・教育理念に少しでも近づけられるよう育成してほしい。
- ・「日本でつくられるジュエリーの1/3を生産している県であること。」「日本で唯一の公立の専門学校であること。」を強く強調するとよいと思います。また、ジュエリー産業の可能性やマイスターの価値・未来像などを盛り

込むとさらによくなると思います。

(2) 学校運営 評価点 3.67

- ・ 専門職業人の育成を目指す。
- ・ 現状でよいと思います。
- ・ ホームページを拝見させていただいております。見やすく分かりやすくつくられており、大変良いと思っておりますが、進路実績にある各企業等のページへのリンクを貼ることは、県の機関であると難しいのでしょうか。「どんなところへ就職・進学していくのか」、受験生にとっては興味のあるところです。進路先の企業等がホームページからみることができると、ジュエリーへの興味・関心や今後の可能性についても知ることができ効果が大きいと思います。

(3) 教育活動 評価点 3.67

- ・ 計画的に実践する基礎的能力を養う。
- ・ 各教員とも熱心なところが見受けられる。
- ・ グローバル化に対応した教育のアンケートで卒業生の評価との差が出ている。生徒の意識の差があることに着目してはどうか。
- ・ 個人の力量に合わせて少しでも伸ばせるように教育してほしい。
- ・ 充実した教育活動がなされているという評価だと感じます。職人がつくったジュエリーは、世界で一つだけのジュエリーです。その技術を身につけるための教育活動は重要であると考えますし、日本人の技術力の高さは世界的にも評価されていることだと思いますので、評価が若干低かったグローバル化への対応は、コロナ収束後の大きな変化に対応できるよう工夫が必要かと感じます。

(4) 学習成果 評価点 3.56

- ・ 今年の卒業制作の現場に携わり、3年でここまで成長するかと感じました。
- ・ 自身のデザインは作り上げることができても、基礎の部分がしっかりと身につけていないと伸びしろが少ないと思います。どんなデザインでも製品にできるような力をつけさせてほしい。
- ・ アンケートからは、概ね学習成果が得られていると思われれます。学習成果が活かされることを期待します。

(5) 学生指導等 評価点 3.56

- ・ 会社訪問時や来校者に対しての礼儀が良くない生徒がいる。
- ・ 工具等の扱いが悪い。
- ・ 概ね良い。

- ・ 学生に対する指導も充実していると感じました。課外活動や卒業生への支援体制は、若干工夫する必要があるかと思います。

(6) 教育環境 評価点 3.56

- ・ 卒業生への支援について評価に差が出ている。
- ・ 充実しているものと感じます。

(7) 学生募集 評価点 3.0

- ・ 無料イベント、講習会などを実施する。
- ・ 広範囲にパンフレット等を配布し、学生の確保をした方が良いと思います。
- ・ 唯一の公立ジュエリー専門学校の割には、入学希望者が少ない様を感じる。他の私立専門学校と比べ、どこが劣っているのか分析する必要がある。
- ・ 募集要項やホームページ等学生募集活動は有効に実施されているように感じます。
- ・ 今年度はコロナ禍でしようがないと思いますが、もっと県外学生に向けたアピールをしてほしい。また、県内高校生に向けては、出前授業みたいなことはできないでしょうか。既にやっているのでしょうか。
- ・ 二次募集以降の県外の高校等へのPRを強化する必要がある。

(8) 法令等の遵守 評価点 3.78

- ・ 特に問題ないと感じました。

(9) 社会貢献・地域貢献 評価点 3.0

- ・ 企業側として、夜間講座（高度技術専門コース）の活動をもっと積極的に告知してみてもどうか。
- ・ 定員未達の夜間講座（高度技術専門コース）が増えている。講座内容、開催方法等再検討する必要があると思います。
- ・ 交流スペースは全く周知されていない。
- ・ 地域の産業の振興のため、ジュエリー産業の発展は欠かせないものだと思います。物作りの視点と同時に、人々を輝かせる物としてのジュエリーに対する視点を持って様々な産業とのコラボレーションが大切だと感じています。衣料品と宝石、お菓子と宝石、車と宝石、部屋と宝石等など、高度な技術を身に付けた学生だから必要とされる仕事もあるように思います。
- ・ 中心市街地に移転してから言い続けていますが、もっと商店街とかと連携した学校の活動をしてほしい。中心市街地にある魅力を活かしてほしい。業界が新年度以降“ジュエリーの日”に力を入れた事業をしていくようなので、学校との連携も考えてほしい。また、今年9月に日本ジュエリーフェアがアイメッセで開催されるので、学生の見学など活かした展開を考えてほしい。